

平成 2 2 年 度 事 業 計 画

福祉住環境コーディネーター協会

平成 2 2 年 4 月 1 日～平成 2 3 年 3 月 3 1 日

本協会は、その活動を通じて個々の会員の能力向上と福祉住環境コーディネーターの認知度の向上に努め、会員の啓発と活躍を支援する使命を果たします。

本年度は研修事業への地域性反映に努めるなど、会員本位の運営のために、会員のニーズに沿った事業展開を一層充実することとし、その重点目標を次のように定め、以下の事業を行います。

重点目標

- ◎ 福祉住環境コーディネーターに必要な知識についての研修、情報の収集と提供機能の強化。
- ◎ 会員相互および関係職種者との交流・ネットワーク強化に資する事業。

1 研修・啓発に関する事業

(1) スキルアップセミナーの実施

検定試験合格レベルより更に高いレベルの知識提供のために、より実践的な内容で実施する。実施に際しては、これまでの体系を再構築し、地域的なニーズ等への対応をはかるために地域活動団体及び公的な機関等と連携した事業展開に努める。

(2) 施設見学会の実施

国内外の医療・福祉・介護・福祉機器関連施設の見学会を、当協会にふさわしい視点・方法で実施する。

2 情報の収集と提供機能に関する事業

(1) 情報誌の発行（年 3 回）

ホームページに掲載している機関誌バックナンバーをご覧いただきやすくする工夫を行ないます。

(2) ホームページ・メールマガジンの機能強化

ホームページのコンテンツを更に充実するとともに、現行のメールマガジンとともに広報機能を強化する。

(3) 情報提供サービスの充実

インターネット等により会員が各種情報を収集できるメニューを充実するとともに、引き続き携帯電話サイトからの情報発信サービスを行なう。

(4) 地方自治体へのPR活動

各自治体に管内の会員を紹介すると同時に、情報誌を送付し「住宅改修に関する理由書」への対応について調査をおこなう。調査結果についてはホームページに掲載し、自治体等へも公開する。

(5) 職能団体・地域活動団体等との連携

福祉用具関連の有力な展示会への出展、「福祉用具の日(10月1日)」協賛事業などを行なうことにより福祉住環境コーディネーターの認知度の向上をはかる。また、地域活動団体との連携を強化するため全国を6ブロックに分けた「連絡会(仮称)」の開催の実現に向けて検討を行なう。

3 会員の交流に資する事業、及び組織・サービスの強化に関する事業

(1) タウンミーティングの実施

FJC検定合格者相互あるいは関係職種者との相互啓発を行なうとともに、名刺交換や自己紹介の時間を設けてネットワーク強化のための交流事業を全国で開催する。

4. 特別事業

(1) 大阪バリアフリー展の主催者ブースへの出展

協会として「おひとりさまでも安心、安全なトイレ、浴室、寝室のモデル」を出展する。